

脱IT初心者「社長の疑問・用語解説」(第83回)

ネット時代の「辞書」は危ない！？

2024.11.20



システムへアクセスする度に求められるパスワード入力。良くないのは分かっているけど、つい同じパスワードを使い回す。そんなIT初心者の社長にも、分かりやすく理解できるようにITキーワードを解説する本連載。今回はパスワードを悪用する「辞書攻撃」だ。

「社長、先日ログインパスワードを変更いただくようお願いしましたが、もうお済みでしょうか？最近辞書攻撃も心配ですし、パスワードは定期的に変更をお願いします」(総務兼IT担当者)

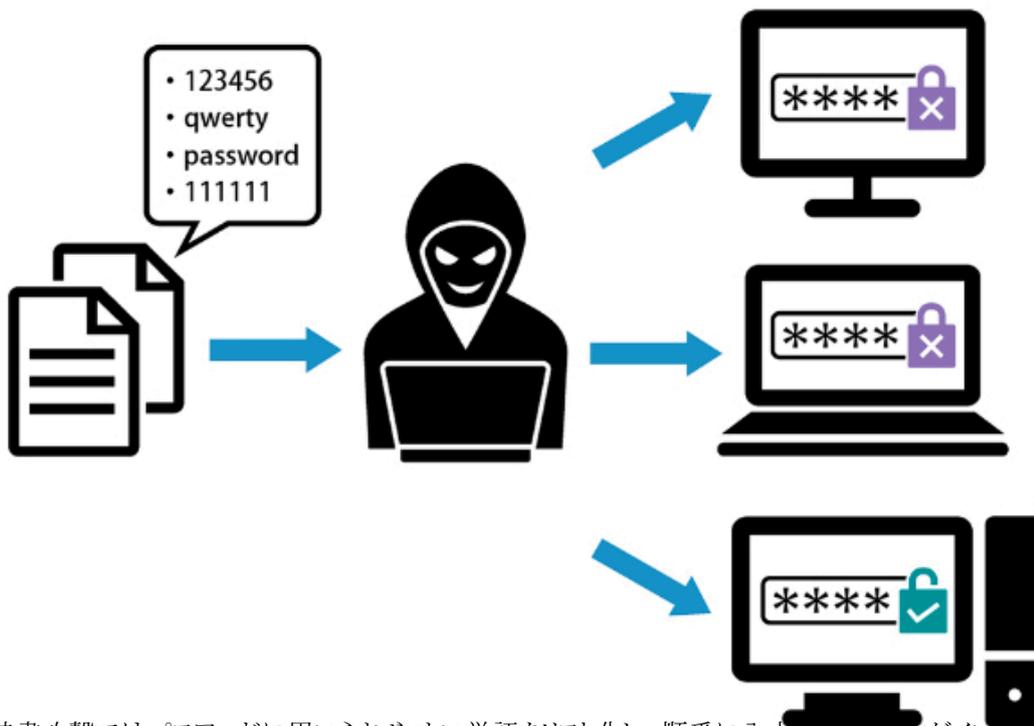
「最近ハッカーも辞書を引いて攻撃するのか。勉強家だな」(社長)

「ハッカーをほめてはいけません。単語や人名の入ったパスワードを辞書のようにリスト化し、そのリストを元に不正アクセスするんです」

「それは油断ならないな。具体的にどんなパスワードが危険なんだ？」

パスワード突破を狙う辞書攻撃

辞書攻撃とは、パスワード認証を突破するための手法の一つです。攻撃者が一般的によく使われるパスワードのリスト(辞書)を用いて、コンピューターによってパスワード認証への総当たり攻撃を行います。突破に成功したパスワードは、違法な情報がやり取りされるWebサイトで売買されることもあります。



辞書攻撃ではパスワードに用いられやすい単語をリスト化し、順番に入力することでログイン画面の突破を試みる

Q 辞書攻撃ではどのようなパスワードが狙われやすいのですか。… 続きを読む